

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/003951

International filing date: 08 March 2005 (08.03.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-068061
Filing date: 10 March 2004 (10.03.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 12 May 2005 (12.05.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

10. 3. 2005

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 4 年 3 月 1 0 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 4 - 0 6 8 0 6 1
Application Number:

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号

The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

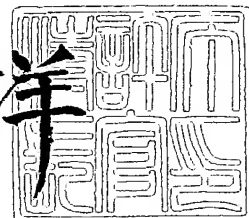
J P 2 0 0 4 - 0 6 8 0 6 1

出 願 人 松下電器産業株式会社
Applicant(s):

2 0 0 5 年 4 月 1 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川 洋



【書類名】 特許願
【整理番号】 2056162004
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04N 7/26
H04N 7/40

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 前田 剛志

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 渡辺 崇

【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 坂西 保昭

【特許出願人】
【識別番号】 000005821
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】
【識別番号】 100109210
【弁理士】
【氏名又は名称】 新居 広守

【手数料の表示】
【予納台帳番号】 049515
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 0213583

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

画像を生成する画像生成装置と、前記画像生成装置から伝送された画像を投影する画像投影装置とから構成される画像伝送システムであって、

前記画像投影装置は、

前記画像生成装置との通信状態を監視する状態監視手段と、

前記状態監視手段の監視下にある通信状態に関する情報を生成するビーコン生成手段と

、
前記生成された情報を前記画像生成装置に送信する送信手段とを備え、

前記画像生成装置は、

前記画像投影装置から前記情報を受信する受信手段と、

前記情報を解析する解析手段と、

前記解析手段の解析結果を表示する表示手段とを備える

ことを特徴とする画像伝送システム。

【請求項 2】

前記ビーコン生成手段は、所定の時間間隔で前記情報を生成する

ことを特徴とする請求項 1 記載の画像伝送システム。

【請求項 3】

前記画像生成装置は、複数存在し、

前記送信手段は、前記生成された情報を前記複数の画像生成装置に一斉配信する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像伝送システム。

【請求項 4】

前記解析手段は、前記情報の発信元である画像投影装置を特定し、

前記画像生成装置は、さらに、

特定された画像投影装置に前記情報を受信したことを通知する通知手段を備え、

前記状態監視手段は、前記通知の数を前記画像投影装置に接続している前記画像生成装置の台数として計数し、

前記ビーコン生成手段は、前記台数を前記情報に含めて、前記情報を生成する

ことを特徴とする請求項 3 記載の画像伝送システム。

【請求項 5】

前記画像投影装置は、さらに、

前記画像投影装置を識別するためのユニークな識別子を割り当てる ID 割当手段を備え

、
前記ビーコン生成手段は、前記識別子を前記情報に含めて、前記情報を生成する

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の画像伝送システム。

【請求項 6】

前記画像投影装置は、複数存在し、

前記受信手段は、前記複数の画像投影装置から前記情報を受信し、

前記解析手段は、前記識別子に基づいて前記情報の発信元である画像投影装置を特定し

、
前記表示手段は、前記特定された画像投影装置の前記識別子を表示する

ことを特徴とする請求項 5 記載の画像伝送システム。

【請求項 7】

前記画像生成装置は、さらに、

前記画像投影装置の識別子の指定を受け付けて、前記画像投影装置の存在位置を問い合わせる確認パケットを生成し、前記識別子が割り当てられている画像投影装置に送信する問合せ手段を備え、

前記画像投影装置は、さらに、

前記確認パケットを受信する確認パケット受信手段と、

前記確認パケットを受信すると、前記確認パケットを受信したことに対して応答を出力

する応答出力手段とを備える

ことを特徴とする請求項 5 または 6 記載の画像伝送システム。

【請求項 8】

前記応答出力手段が出力する応答は、ブザーの鳴動または L E D ランプの点灯であることを特徴とする請求項 7 記載の画像伝送システム。

【請求項 9】

画像を生成する画像生成装置から前記画像を投影する画像投影装置に前記画像を伝送する画像伝送方法であって、

前記画像投影装置において、

前記画像生成装置との通信状態を監視する状態監視ステップと、

前記状態監視ステップの監視下にある通信状態に関する情報を生成するビーコン生成ステップと、

前記生成された情報を前記画像生成装置に送信する送信ステップとを含み、

前記画像生成装置において、

前記画像投影装置から前記情報を受信する受信ステップと、

前記情報を解析する解析ステップと、

前記解析ステップにおける解析結果を表示する表示ステップとを含む

ことを特徴とする画像伝送方法。

【書類名】明細書

【発明の名称】画像伝送システムおよび画像伝送方法

【技術分野】

【0001】

本発明は、パーソナルコンピュータ（以下、「PC」と表記する。）等の画像生成装置からプロジェクタ等の画像投影装置に送信される画像の伝送システムおよび伝送方法に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、PCから画像信号を受信して、PCの画面をスクリーン等に投影させるプロジェクタの普及が進んでいる。このプロジェクタは、PCで編集したプレゼンテーション資料をスクリーン上に投影させることにより、伝えたい内容を視覚的に表現することができるので、会議や研修会等で多用されている。

【0003】

通常、PCとプロジェクタとは、RGBケーブルを介したアナログ接続により画像信号の受け渡しを行なっている。しかし、PCとプロジェクタとを接続する手間がかかり、特に投影させたいデータが複数のPCに分かれて保存されている場合等には、その都度PCとプロジェクタとの接続をやり直さなければならない。そこで、プロジェクタの使い勝手の改善を目的として、赤外線や無線LAN等を介してPCからプロジェクタに画像信号を伝送するワイヤレス映像伝送装置が提案されており、また、複数台のPCからの画像信号を1台のプロジェクタに同時表示させるワイヤレス伝送システムも開示されている（例えば、特許文献1参照。）。

【特許文献1】特開2003-330436号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、上記のワイヤレス伝送システムでは、複数台のPCが存在する環境下において、ユーザは、自己のPCがプロジェクタに接続されているか否かを知ることができても、接続されていない原因を知ることができない。すなわち、他のユーザのPCがプロジェクタに接続されているために自己のPCが接続されていないのか、それとも通信路に不具合が生じているために自己のPCが接続されていないのかを把握できない。

【0005】

また、複数台のプロジェクタが存在する環境下において、ユーザは、どのプロジェクタに接続することができるか、または、どのプロジェクタに接続すべきかを知ることができない。

【0006】

そこで、本発明は、上記問題点に鑑みなされたものであり、ユーザがPCとプロジェクタとの通信状態を把握することができる画像伝送システムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明に係る画像伝送システムは、画像を生成する画像生成装置と、前記画像生成装置から伝送された画像を投影する画像投影装置とから構成される画像伝送システムであって、前記画像投影装置は、前記画像生成装置との通信状態を監視する状態監視手段と、前記状態監視手段の監視下にある通信状態に関する情報を生成するビーコン生成手段と、前記生成された情報を前記画像生成装置に送信する送信手段とを備え、前記画像生成装置は、前記画像投影装置から前記情報を受信する受信手段と、前記情報を解析する解析手段と、前記解析手段の解析結果を表示する表示手段とを備えることを特徴とする。これによって、PCは、プロジェクタから常時配信されるプロジェクタの通信状態に関する情報を受信して表示するので、ユーザは、PCとプロジェクタとの通信状態を把握できるようになる。

【0 0 0 8】

ここで、前記解析手段は、前記情報の発信元である画像投影装置を特定し、前記画像生成装置は、さらに、特定された画像投影装置に前記情報を受信したことを通知する通知手段を備え、前記状態監視手段は、前記通知の数を前記画像投影装置に接続している前記画像生成装置の台数として計数し、前記ビーコン生成手段は、前記台数を前記情報に含めて、前記情報を生成するとしてもよい。これによって、P C は、プロジェクタからプロジェクタへ接続している P C の台数が含まれた情報を受信して表示するので、ユーザは、プロジェクタに接続している他のユーザがどれだけいるかを知ることができる。

【0 0 0 9】

また、前記画像投影装置は、複数存在し、さらに、前記画像投影装置を識別するためのユニークな識別子を割り当てる I D 割当手段を備え、前記ビーコン生成手段は、前記識別子を前記情報に含めて、前記情報を生成し、前記受信手段は、前記複数の画像投影装置から前記情報を受信し、前記解析手段は、前記識別子に基づいて前記情報の発信元である画像投影装置を特定し、前記表示手段は、前記特定された画像投影装置の前記識別子を表示するのが好ましい。これによって、P C は、複数のプロジェクタが存在する環境下においても、どのプロジェクタに接続すればよいかを判断することが可能となる。

【0 0 1 0】

さらに、前記画像生成装置は、前記画像投影装置の識別子の指定を受け付けて、前記画像投影装置の存在位置を問い合わせる確認パケットを生成し、前記識別子が割り当てられている画像投影装置に送信する問合せ手段を備え、前記画像投影装置は、さらに、前記確認パケットを受信する確認パケット受信手段と、前記確認パケットを受信すると、前記確認パケットを受信したことに対して応答を出力する応答出力手段とを備える。これによって、P C は、プロジェクタ側に確認パケットを送信し、確認パケットを受信したプロジェクタが応答するので、ユーザは、P C 画面を送信すべきプロジェクタの存在位置を知ることができる。

【0 0 1 1】

なお、本発明は、このような画像伝送システムとして実現することができるだけでなく、このような画像伝送システムを構成する各装置が備える特徴的な手段をステップとする画像伝送方法として実現したり、それらのステップをコンピュータに実行させるプログラムとして実現したりすることもできる。そして、そのようなプログラムは、C D - R O M 等の記録媒体やインターネット等の伝送媒体を介して配信することができるのは言うまでもない。

【発明の効果】**【0 0 1 2】**

このように、本発明に係る画像伝送システムによれば、P C 側で、プロジェクタから常時配信されるプロジェクタの通信状態に関する情報を表示するので、ユーザは、P C とプロジェクタとの通信状態を把握することが可能となる。

【0 0 1 3】

また、P C からプロジェクタ側に確認パケットを送信し、確認パケットを受信したプロジェクタがブザーや L E D ランプ等によって応答するので、ユーザは、P C 画面を送信すべきプロジェクタを知ることができる。

【発明を実施するための最良の形態】**【0 0 1 4】**

以下、本発明を実施するための最良の形態について詳細に説明する。

図 1 は、本実施の形態に係る画像伝送システムの外観構成を示す図である。

この画像伝送システムは、P C 1 0 0 から P C 1 0 0 の表示装置に表示されている画面をプロジェクタ 2 0 0 に送信し、プロジェクタ 2 0 0 でスクリーン 2 0 に受信した画面を投影させるシステムであり、P C 1 0 0 は、無線 L A N チップが格納された無線 L A N カード 1 0 が取り付けられており、これによりネットワークを介してプロジェクタ 2 0 0 に画像信号を送信する。

【0015】

図2は、本実施の形態に係る画像伝送システムを構成するPC100およびプロジェクタ200のハードウェア構成を示すブロック図である。

図2に示すように、PC100は、CPU101、メインメモリ102、記憶装置103、グラフィックスチップ104、VRAM105、ディスプレイ110に出力する出力IF106、キーボード111やマウス112等の入力装置からユーザの操作に基づく指示信号を取得するユーザIF107、および、LAN等のネットワークを経由してプロジェクタ200やサーバ等と通信するためのインターフェースであるネットワークIF108を備える。

【0016】

プロジェクタ200は、CPU201、メインメモリ202、記憶装置203、グラフィックスチップ204、リサイズLSI205、VRAM206、ネットワークIF207および出力装置208を備える。

【0017】

図3は、本実施の形態に係る画像伝送システムを構成するPCおよびプロジェクタの機能的な構成を示すブロック図である。

図3に示すように、PC300は、PC通信部301と、ビーコン解析部302と、表示出力部303とを備え、プロジェクタ400は、プロジェクタ通信部401と、状態監視部402と、ホスト・ID割当部403と、応答出力部404とを備える。

【0018】

PC通信部301は、プロジェクタ400からプロジェクタ400の通信状態に関する情報（ビーコン）を受信したり、プロジェクタ400へ接続を要求する接続要求パケットや通信状態を問い合わせる確認パケット等を送信したりする処理部であり、ネットワークIF108等によって実現される。

【0019】

ビーコン解析部302は、PC通信部301が受信したビーコンを取得して解析する処理部であり、CPU101やメインメモリ102等によって実現される。

表示出力部303は、ビーコン解析部302における解析結果を表示装置に出力する処理部であり、グラフィックスチップ104等によって実現される。

【0020】

プロジェクタ通信部401は、PC300にビーコンを送信したり、PC300から接続要求パケット等を受信したりする処理部であり、ネットワークIF207等によって実現される。

【0021】

状態監視部402は、プロジェクタ400の通信状態を監視してビーコンを生成したり、確認パケットを取得して応答出力部404に応答信号を出力したりする処理部であり、CPU201等によって実現される。

【0022】

ホスト・ID割当部403は、プロジェクタ400の識別情報となるホスト名およびプロジェクタIDを割り当てる処理部であり、CPU201等によって実現される。このホスト・ID割当部403は、例えば、プロジェクタ400の初期設定において、ユーザからホスト名の入力を受け付けて、入力されたホスト名を割り当てる。また、ホスト・ID割当部403は、プロジェクタ400の起動時に、その都度ネットワークIF207に割り当てられているMACアドレスやIPアドレスに基づいて、ユニークなプロジェクタIDを割り当てる。

【0023】

応答出力部404は、状態監視部402から応答信号を取得すると作動する報知器であり、ブザーやLEDランプ等により実現される。

なお、PC通信部301およびプロジェクタ通信部401は、それぞれ1つ以上のプロジェクタ400および1つ以上のPC300と通信可能になっている。

【0024】

このように構成された画像伝送システムの処理動作について、以下説明する。

図4は、PC300とプロジェクタ400との通信シーケンス図である。

まずプロジェクタ400が起動されると(S30)、ホスト・ID割当部403は、MACアドレスやIPアドレスに基づいて、ユニークなプロジェクタIDを設定する(S32)。なお、ホスト名については、プロジェクタ400の初期設定の段階で設定されたものがメインメモリ202に保持されていることとする。

【0025】

次に、プロジェクタ400は、状態監視部402において、通信状態の監視を開始し(S34)、1つ以上のPC300にビーコンを一斉配信(ブロードキャスト)する(S36)。

【0026】

ビーコンを受信したPC300は、ビーコン解析部302において受信したビーコンを解析し、プロジェクタ400との通信状態を表示出力部303を介して表示する(S38)。

【0027】

ここで、PC300からプロジェクタ400へ接続要求パケットを送信すると(S40)、プロジェクタ400は、状態監視部402において、通信状態を更新して(S42)、更新された通信状態に基づいてビーコンを生成し、各PC300にブロードキャストする(S44)。

【0028】

ビーコンを受信したPC300は、同様にビーコンを解析し、更新されたプロジェクタ400との通信状態を表示出力部303を介して表示する(S46)。

プロジェクタ400は、所定の間隔T1(例えば、1秒毎)でビーコンを各PC300に送信し(S48)、プロジェクタ400の通信状態を常時、各PC300に通知する。

【0029】

ここで、PC300が確認パケットをプロジェクタ400に送信した場合(S50)、確認パケットを受信したプロジェクタ400は、応答出力部404を作動させて応答を出力する(S52)。

【0030】

図5は、複数台のPCが1台のプロジェクタと通信する場合を説明するための図である。

図5では、1台のプロジェクタ400と、プロジェクタ400との接続が確立されており、プロジェクタ400に接続中のPC300およびプロジェクタ400との接続が確立されていないPC300aとが示されている。

【0031】

ここで、接続が確立されているとは、ビーコンの送受信が可能な状態であることを意味し、接続が確立されていないとは、ビーコンの送受信が不可能な状態であることを意味する。

【0032】

また、接続中とは、PC画面の送信をプロジェクタ400に対して行なえる状態を意味し、接続中でないとは、PC画面の送信をプロジェクタ400に対して、すぐには行なえない状態を意味する。例えば、ビーコンの送受信が可能な状態でありながら、プロジェクタ400以外のプロジェクタに接続中の場合は、プロジェクタ400とは接続中でない状態である。

【0033】

プロジェクタ400との接続が確立されているPC300では、PC画面70中のランチャー71にプロジェクタ400との通信状態を示すための通信状態表示部72が設けられている。すなわち、PC300のユーザは、この通信状態表示部72の表示態様により、プロジェクタ400にPC画面が送信可能であることを知ることができる。

【0 0 3 4】

同様に、プロジェクト 4 0 0 との接続が確立されていない P C 3 0 0 a では、P C 画面 7 0 a 中のランチャー 7 1 a に通信状態表示部 7 2 a が設けられており、P C 3 0 0 a のユーザは、プロジェクト 4 0 0 に P C 画面を送信することができないことを知ることができる。

【0 0 3 5】

本図では、通信状態表示部 7 2 および 7 2 a の表示態様として模様を用いているが（接続確立を水玉、接続未確立をクロス）、色を用いる、または、点滅させる等、様々な表示態様を用いることができる。また、ここでは、通信状態のステータスについて、接続確立と接続未確立の 2 種類を説明しているが、例えば、（1）自分の P C からプロジェクトへ画面を送信中、（2）プロジェクトへ画面送信可能、（3）接続が確立されているが、他ユーザがプロジェクトへ画面送信中のため画面送信不可、（4）接続が確立されていない等のステータスを、上記表示態様に意味づけすることもできる。

【0 0 3 6】

図 6 は、1 台の P C が複数台のプロジェクトと通信する場合を説明するための図である。

図 6 では、1 台の P C 3 0 0 と、P C 3 0 0 と通信可能な状態となっている複数台のプロジェクト 4 0 0 および 4 0 0 a とが示されている。すなわち、P C 3 0 0 は、プロジェクト 4 0 0 および 4 0 0 a から、それぞれビーコンを受信するようになっている。このとき、プロジェクト 4 0 0 および 4 0 0 a から送信されるビーコンには、それぞれのプロジェクトに割り当てられたホスト名とプロジェクト ID とが含まれており、P C 3 0 0 は、ビーコン解析部 3 0 2 において、いずれのプロジェクトから送信されたビーコンであるかを判別している。

【0 0 3 7】

そして、P C 3 0 0 は、P C 画面 8 0 中の通信状態表示ウィンドウ 8 1 に、受信したビーコンの発信元のプロジェクト一覧を表示する。

通信状態表示ウィンドウ 8 1 には、ホスト名を表示する接続先フィールド 8 2 と、プロジェクト ID を表示する ID フィールド 8 3、および、プロジェクトの通信状態を示す状態フィールド 8 4 が含まれており、状態フィールド 8 4 には、そのプロジェクトへ接続している P C の数が視覚的に示されている。

【0 0 3 8】

本図では、プロジェクト 4 0 0 a には、“M e e t i n g R o o m 1” というホスト名と、“P r o j 6 1 9” というプロジェクト ID が割り当てられ、どの P C とも接続されていない待機状態であることが通信状態表示ウィンドウ 8 1 に示されている。また、プロジェクト 4 0 0 には、“M e e t i n g R o o m 2” というホスト名と、“P r o j 0 3 7 7” というプロジェクト ID が割り当てられ、3 台の P C が接続中であることが通信状態表示ウィンドウ 8 1 に示されている。

【0 0 3 9】

なお、このとき、プロジェクト 4 0 0 は、送信したビーコンへの接続中の P C 側からの応答数をカウントしており、その応答数を接続中のユーザ数として通信状態表示ウィンドウ 8 1 に示している。例えば、もし P C の電源が切られた場合等には、その P C はビーコンに応答しなくなるので、接続中の P C が減ることになる。

【0 0 4 0】

なお、接続中の P C からプロジェクトに定期的にパケットを送信することで、接続中であることをプロジェクトに知らせるとしてもよい。

また、接続が確立していれば P C が応答するようにし、接続が確立している P C の数を接続中のユーザ数として通信状態表示ウィンドウ 8 1 に示してもよいし、実際に画像を受信している P C の数を表示してもよい。

【0 0 4 1】

図 7 は、P C からプロジェクトに確認パケットを送信した場合を説明するための図であ

る。

図7では、1台のPC300と、PC300からPC画面を受信してスクリーン20aに投影させているプロジェクタ400と、PC300と通信可能な状態となっているプロジェクタ400aとが示されている。

【0042】

ここで、PC300は、PC画面中のランチャー92に含まれる接続確認ボタン93を押下する操作を受け付けると、プロジェクタ400に確認パケットを送信する。そして、プロジェクタ400は、確認パケットを受信すると、LEDランプ410を点灯させたり、ブザー420を鳴らしたりして、確認パケットに対して応答する。このとき、プロジェクタ400は、割り当てられているプロジェクタIDをスクリーン20aのID表示部93に表示させる等、応答したことを示す画面を表示させてもよい。

【0043】

なお、PC300は、図6に示した通信状態表示ウィンドウ81に表示されているプロジェクタ一覧から所望のプロジェクタの指定を受け付けて、通信状態表示ウィンドウ81に含まれる接続確認ボタンを押下する操作を受け付けることによって、確認パケットを指定されたプロジェクタに送信するようにしてもよい。

【0044】

このように本実施の形態に係る画像伝送システムによれば、プロジェクタは、プロジェクタの通信状態に関する情報を通信可能なPCに常時配信し、PC側で配信されたプロジェクタの通信状態に関する情報を表示するので、ユーザは、自己のPCとプロジェクタとの通信状態を把握することができる。

【0045】

また、PCからホスト名等を指定してプロジェクタ側に確認パケットを送信すると、確認パケットを受信したプロジェクタがブザーやLEDランプ等により応答するので、ユーザは、PC画面を送信すべきプロジェクタを知ることができる。

【0046】

以上、本発明に係る画像伝送システムについて実施の形態に基づき説明したが、本発明は、この実施の形態に限定されるものではない。

【0047】

例えば、上記実施の形態では、PCとプロジェクタ間の通信は、無線LANによるとしているが、有線LANであってもよいことはいうまでもない。

【0048】

また、画像投影装置としてプロジェクタを用いて説明したが、プラズマ・ディスプレイ・パネル等の表示装置としてもよい。

【産業上の利用可能性】

【0049】

本発明に係る画像伝送システムは、画像生成装置であるPC等から画像投影装置であるプロジェクタ等に画像を伝送するシステムに適用することができ、特に、ワイヤレスプロジェクタを用いたプレゼンテーション等を行なう際に好適である。

【図面の簡単な説明】

【0050】

【図1】本発明の実施の形態に係る画像伝送システムの外觀構成を示す図である。

【図2】画像伝送システムを構成するPCおよびプロジェクタのハードウェア構成を示すブロック図である。

【図3】本実施の形態に係る画像伝送システムを構成するPCおよびプロジェクタの機能的な構成を示すブロック図である。

【図4】PCとプロジェクタとの通信シーケンス図である。

【図5】複数台のPCが1台のプロジェクタと通信する場合を説明するための図である。

【図6】1台のPCが複数台のプロジェクタと通信する場合を説明するための図であ

る。

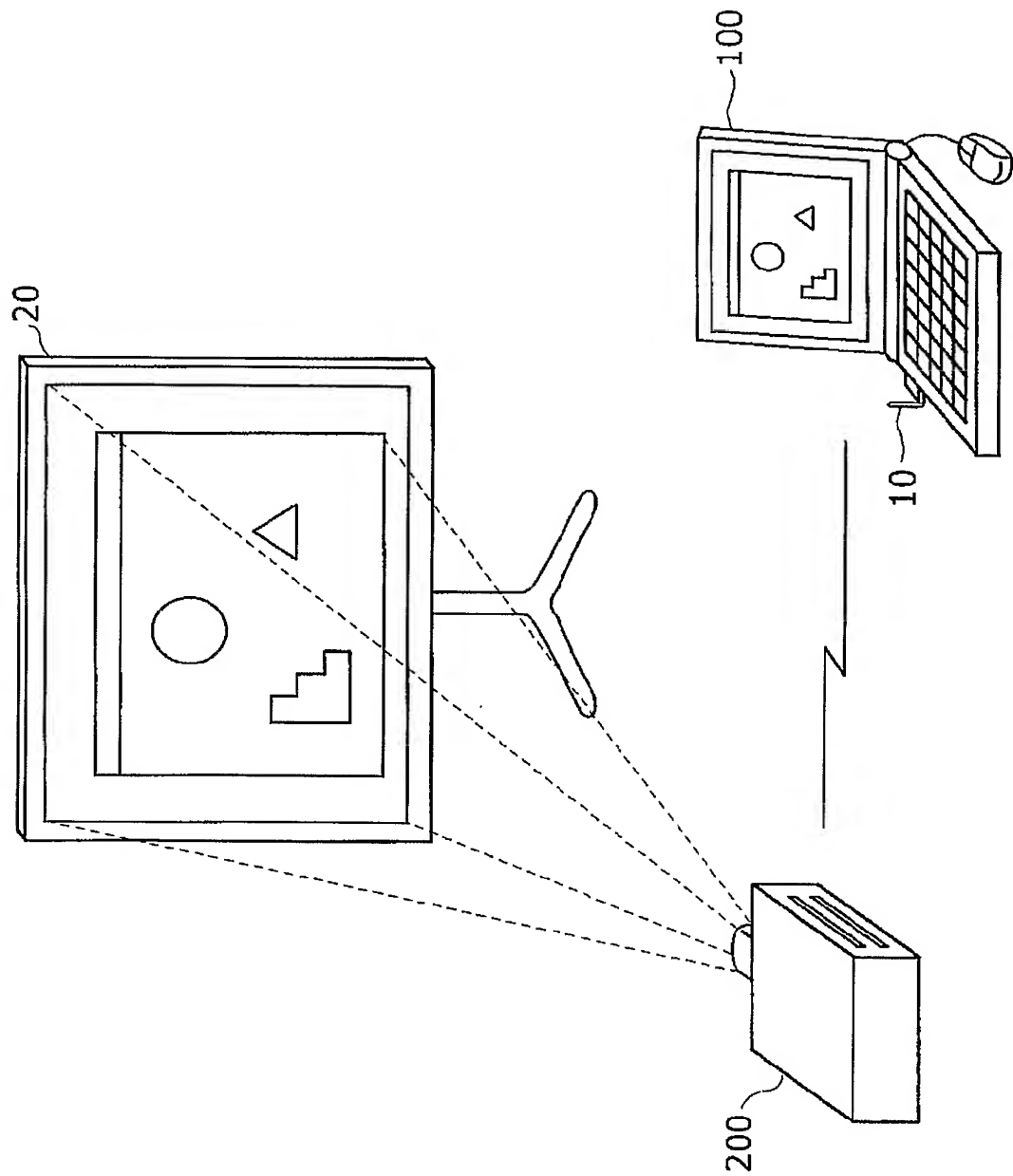
【図 7】 P C からプロジェクタに確認パケットを送信した場合を説明するための図である。

【符号の説明】

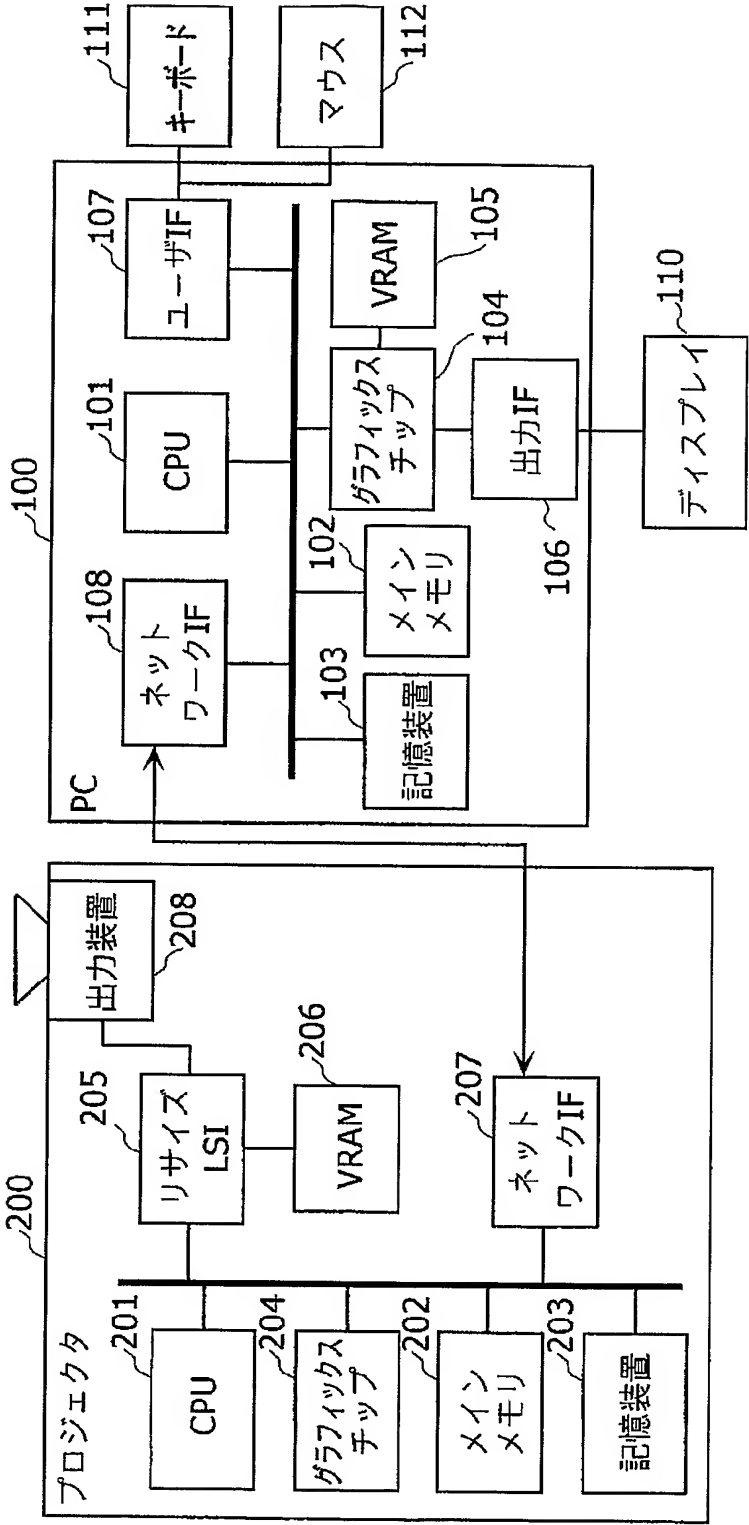
【 0 0 5 1 】

1 0	無線 L A N カード
2 0、2 0 a	スクリーン
3 0、5 0	表示画面
7 0、7 0 a、8 0	P C 画面
7 1、7 1 a、9 1	ランチャー
7 2、7 2 a	通信状態表示部
8 1	通信状態表示ウィンドウ
8 2	接続先フィールド
8 3	I D フィールド
8 4	状態フィールド
9 2	接続確認ボタン
9 3	I D 表示部
1 0 0、3 0 0、3 0 0 a	P C
1 0 1、2 0 1	C P U
1 0 2、2 0 2	メインメモリ
1 0 3、2 0 3	記憶装置
1 0 4、2 0 4	グラフィックスチップ
1 0 5、2 0 6	V R A M
1 0 6	出力 I F
1 0 7	ユーザ I F
1 0 8、2 0 7	ネットワーク I F
1 1 0	ディスプレイ
1 1 1	キーボード
1 1 2	マウス
3 0 1	P C 通信部
3 0 2	ビーコン解析部
3 0 3	表示出力部
2 0 0、4 0 0、4 0 0 a	プロジェクタ
2 0 5	リサイズ L S I
2 0 8	出力装置
4 0 1	プロジェクタ通信部
4 0 2	状態監視部
4 0 3	ホスト・I D 割当部
4 0 4	応答出力部
4 1 0	L E D ランプ
4 2 0	ブザー

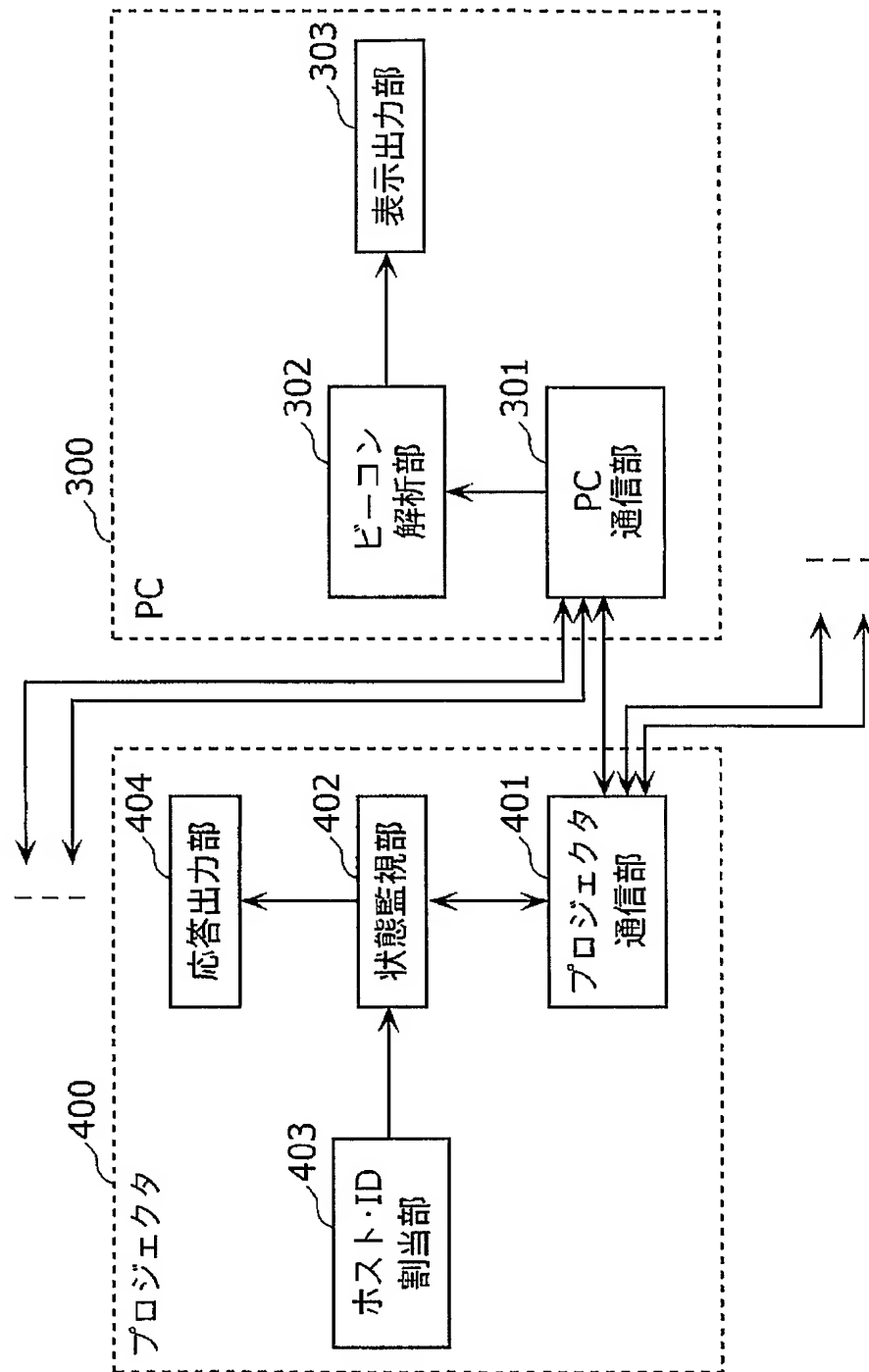
【書類名】 図面
【図 1】



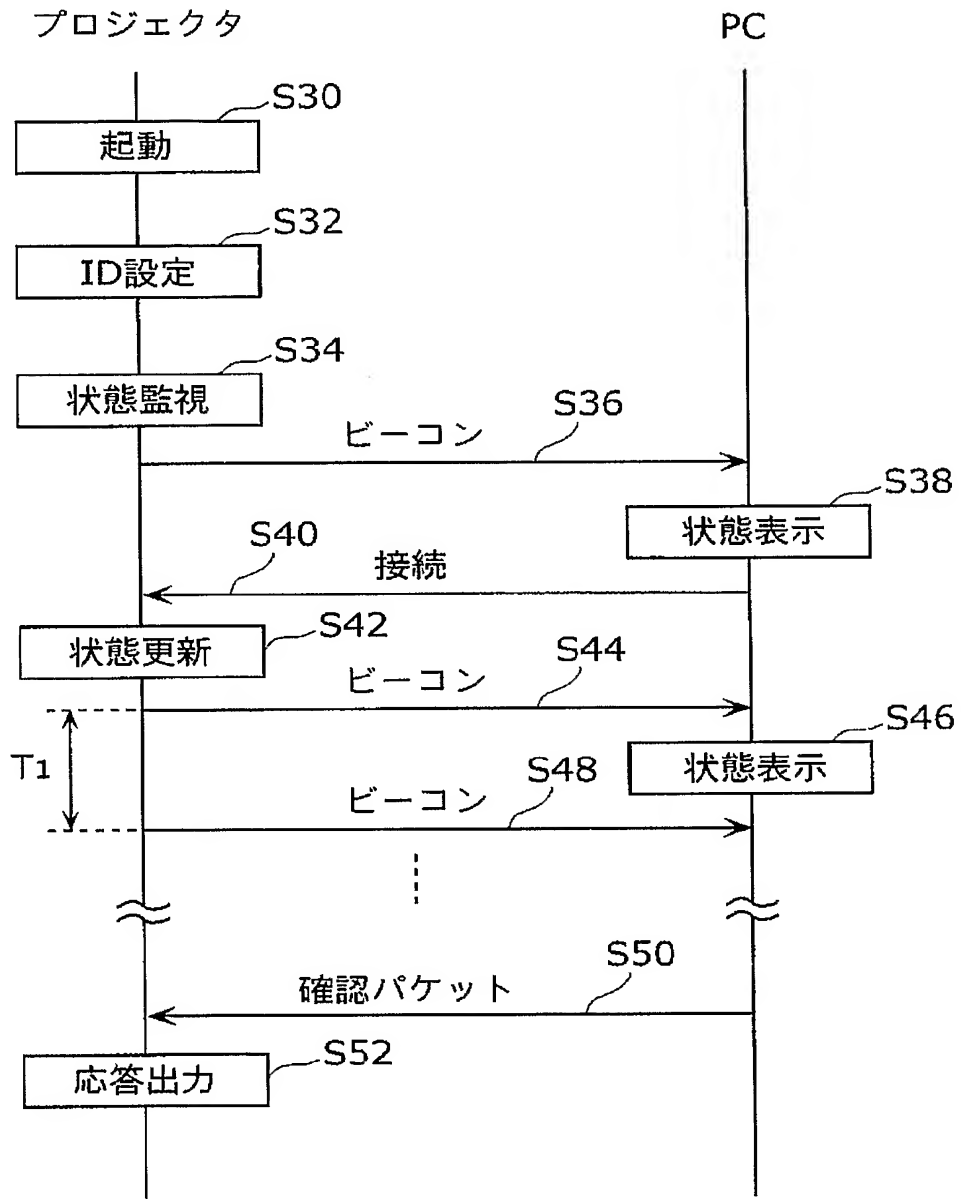
【図 2】



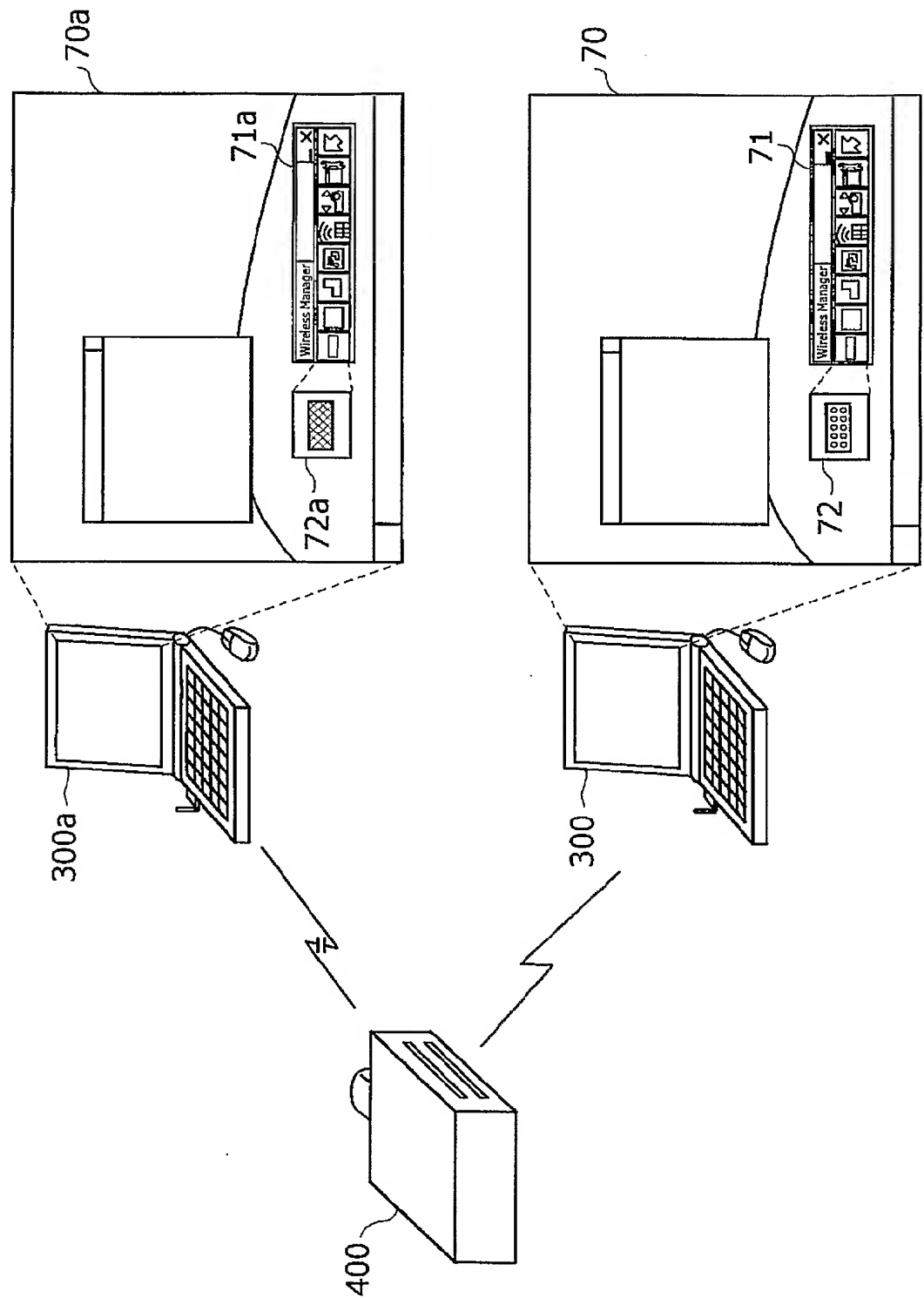
【図 3】



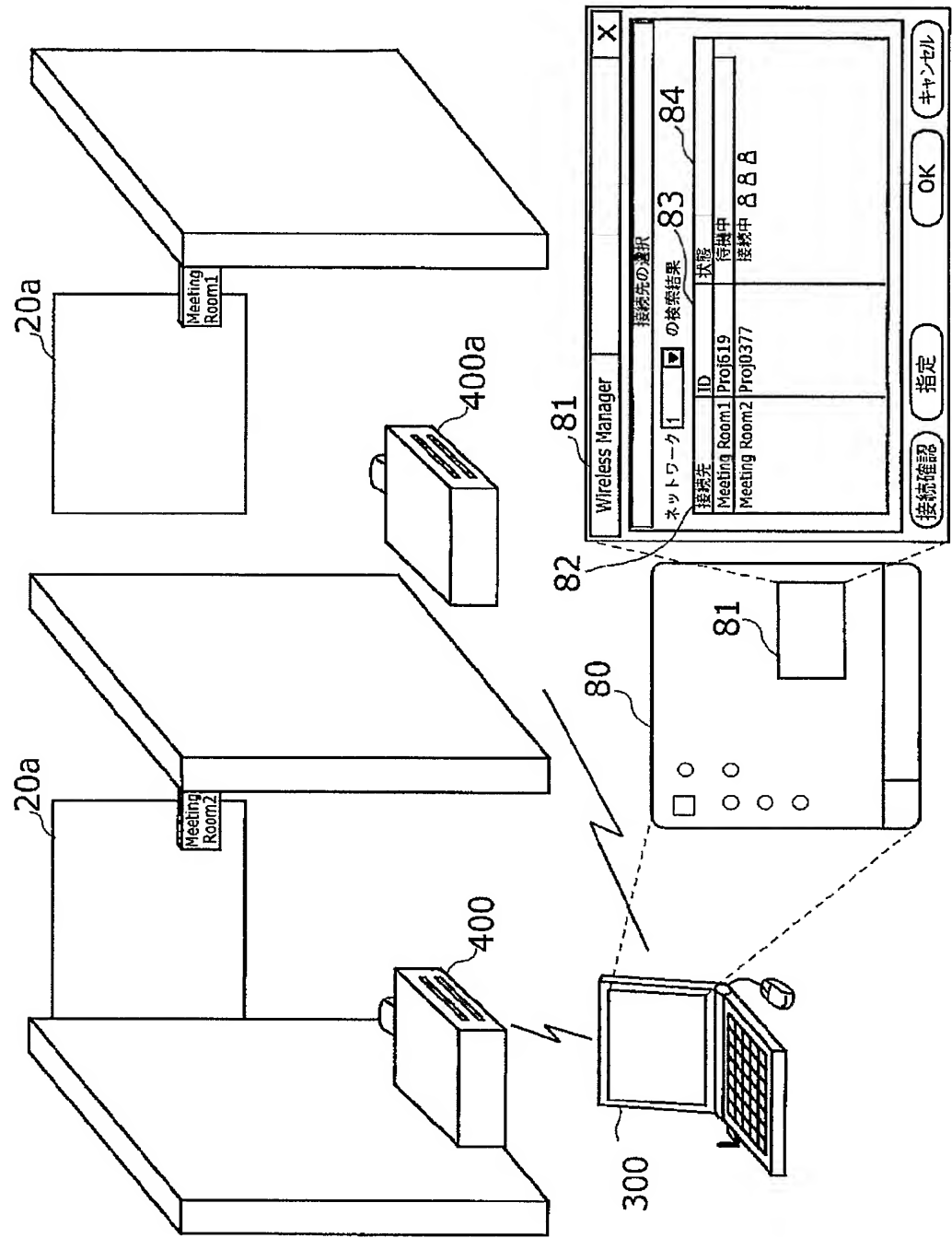
【図 4】



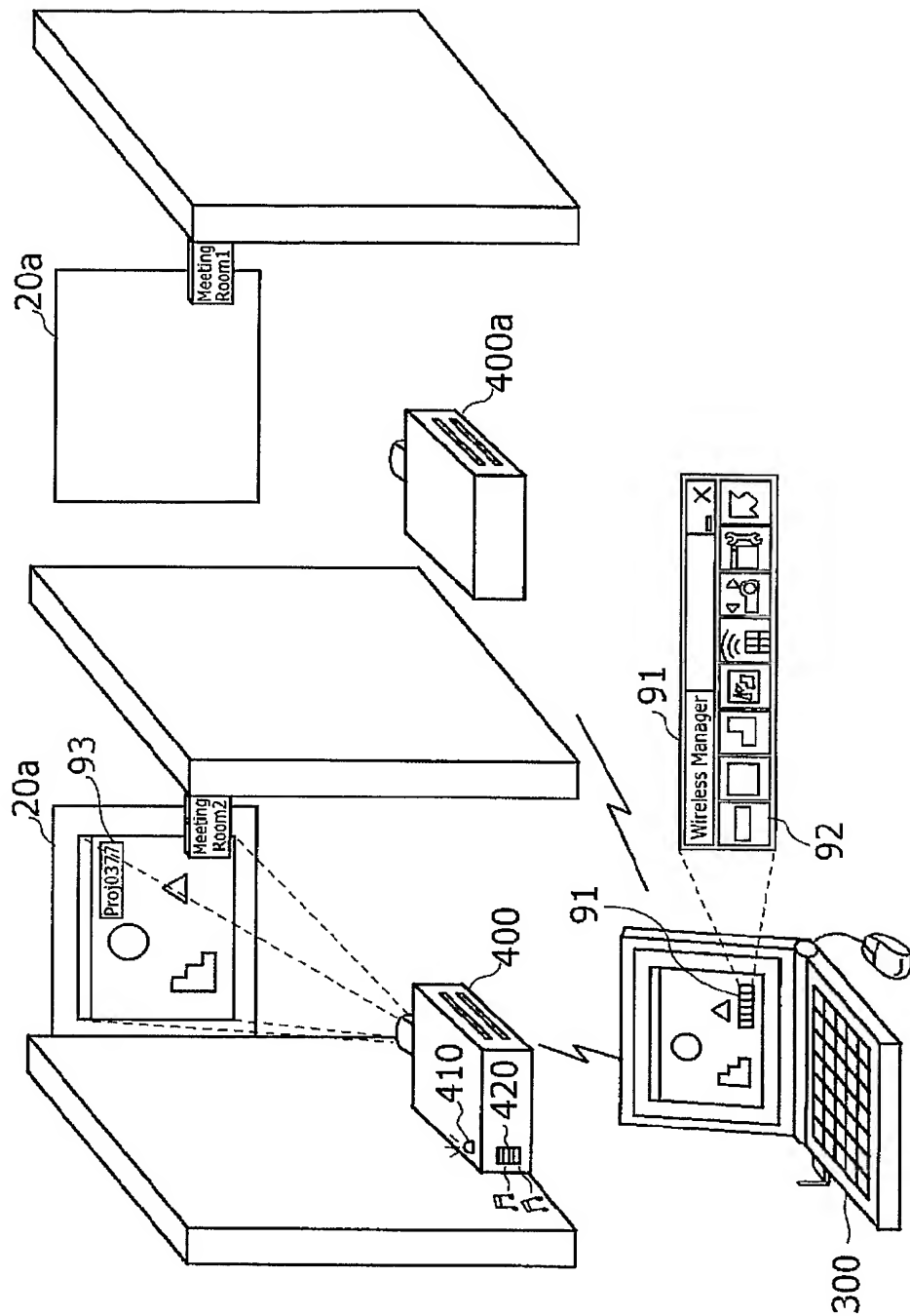
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザが P C とプロジェクタとの通信状態を把握することができる画像伝送システムを提供する。

【解決手段】 画像生成装置である P C 3 0 0 と画像投影装置であるプロジェクタ 4 0 0 とから構成され、プロジェクタ 4 0 0 は、P C 3 0 0 との通信状態を監視し、監視下にある通信状態に関する情報を生成する状態監視部 4 0 2 と、生成された通信状態に関する情報を P C 3 0 0 に送信するプロジェクタ通信部 4 0 1 とを備え、P C 3 0 0 は、プロジェクタ 4 0 0 から通信状態に関する情報を受信する P C 通信部 3 0 1 と、受信した情報を解析するビーコン解析部 3 0 2 と、ビーコン解析部 3 0 2 の解析結果を表示する表示出力部 3 0 3 とを備える。

【選択図】 図 3

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 4 - 0 6 8 0 6 1
受付番号	5 0 4 0 0 3 9 7 4 4 9
書類名	特許願
担当官	第一担当上席 0 0 9 0
作成日	平成 1 6 年 3 月 1 1 日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成16年 3月10日

特願 2 0 0 4 - 0 6 8 0 6 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社